

●連携中枢都市宣言について

札幌市は、圏域の中心都市として近隣市町村との協議を重ね、国が推進する「連携中枢都市圏構想」に基づき、「(仮称) さっぽろ連携中枢都市圏」の形成を目指してまいりました。

このたび、圏域市町村それぞれの特徴を生かした、密接な連携と効果的な役割分担を図りながら、「住みたくなる」、「投資したくなる」、選ばれる「さっぽろ圏域」となるため、札幌市が「連携中枢都市」となることを宣言いたします。

人口減少・少子高齢社会においても活力ある社会経済の維持を目指し、今後、連携中枢都市として、圏域市町村と連携しながら「経済成長のけん引」、「高次都市機能の集積・強化」、「生活関連機能サービスの向上」を図り、連携中枢都市圏の取り組みを発展させてまいります。

1 連携中枢都市宣言

別紙のとおり

2 宣言に至る経緯

国が推進する「連携中枢都市圏構想」に基づき、近隣市町村の住民サービスの向上や、より柔軟で効率的な事業の実施が期待できる「連携中枢都市圏」の形成に向けて取り組みを進めてきた。

2018 年 2 月には、連携を想定している 11 市町村の首長等に取り組みに関して説明。その後、協議を重ね、連携した取り組みの概略がまとまってきたことから、連携中枢都市圏形成に向けた最初の公の手続きとして、「連携中枢都市宣言」を行うに至った。

3 連携中枢都市圏形成について

(1) 目的

圏域の中心都市が「連携中枢都市」として近隣の市町村と連携し、「経済成長のけん引」、「高次の都市機能の集積・強化」および「生活関連機能サービスの向上」を行うことにより、人口減少・少子高齢社会においても、一定の圏域人口を有し、活力ある社会経済を維持するための拠点を形成する。

(2) 連携中枢都市の定義

圏域全体の将来像を描き、圏域全体の経済をけん引し、圏域の住民全体の暮らしを支えるという役割を担う意思を有する都市

(3) 連携が想定される市町村

小樽市、岩見沢市、江別市、千歳市、恵庭市、北広島市、石狩市、当別町、新篠津村、南幌町、長沼町 (7 市 3 町 1 村)

※石狩管内の市町村および札幌市への通勤通学割合が 10%を超える市町

(4) 圏域人口

260 万 875 人 (「平成 27 年国勢調査」(総務省)による)

(5) 圏域形成後の国からの財政措置

① 普通交付税

連携中枢都市に対し、「経済成長のけん引」「高次都市機能の集積・強化」の取り組みに要する経費について、圏域人口に応じた額が交付される (札幌市の場合、約 4 億 4000 万円と試算)。

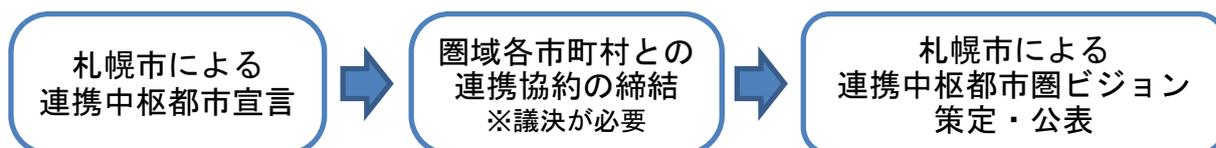
② 特別交付税

連携中枢都市に対し、「生活関連機能サービスの向上」の取り組みに必要な事業に要する経費等について交付される（札幌市の場合、最大1億2000万円）。

連携市町村に対し、「経済成長のけん引」「高次都市機能の集積・強化」「生活関連機能サービスの向上」全てに資する取り組みに必要な事業に要する経費等について交付される（各市町村に最大1500万円）。

4 今後の手続き

連携中枢都市圏の形成に向け、総務省が規定する「連携中枢都市圏構想推進要綱」に基づき、手続きを行う。



5 全国における連携中枢都市圏の形成状況

- (1) 連携中枢都市圏数：28 圏
- (2) 連携中枢都市となっている政令市：新潟市・静岡市・岡山市・広島市・北九州市・熊本市

6 2018 年度の主な実施事業

(1) 圏域の施策の方向性の検討

人口や産業構造、都市機能の集積状況等の調査や、「連携中枢都市圏ビジョン懇談会」(2018年7月・11月に開催。次回は2019年1月に開催予定)における有識者や民間企業等からの意見を踏まえ、都市圏の将来像等を検討。

(2) UI ターンの促進

- ・「札幌 UI ターン就職センター」の求人登録企業を北海道全域に拡大するとともに、圏域内企業による Skype を使った遠隔面接システムや面接ブースの利用を可能とする。
- ・道外学生（先着 50 人）が圏域内での採用面接やインターンシップに参加するための交通費を補助する。（対象期間：2018年7月7日～2019年1月11日）

(3) 広域的なブランドの形成

「第 70 回さっぽろ雪まつり」の会場で「札幌スタイル plus+」と銘打ち、地域ブランド「札幌スタイル」の製品および圏域内の食を中心とした製品による催事出展を予定。

(4) 水素サプライチェーンに関する検討

圏域内の再生可能エネルギーから製造した水素を活用する「水素サプライチェーン」の実現可能性や仕組み（輸送手段、費用など）を調査・検討。

問い合わせ先

まちづくり政策局政策企画部企画課（広域連携担当） 石田・田村

電話：211-2281、ファクス：218-5109

連携中枢都市宣言書

平成 30 年（2018 年）11 月 28 日

札幌市

連携中枢都市宣言

道央圏に位置する、札幌市、小樽市、岩見沢市、江別市、千歳市、恵庭市、北広島市、石狩市、当別町、新篠津村、南幌町及び長沼町の8市3町1村からなる、この圏域は、北海道内の人口の約48%の人々が生活しているほか、道内事業所売上額の約55%を占めるなど、道内における中心的な役割を担っています。

また、この圏域は、豊かな自然や景観、農業をはじめとする多様な産業、空港や港湾などの交通の要衝、大学や研究機関等の知の集積といったさまざまな資源を有しており、それぞれの市町村の特徴ある取組や、活発な住民の交流などを通じて、互いに切磋琢磨しながら発展してきました。

しかし、道内人口は、平成9年（1997年）に約570万人に達して以降、減少に転じ、この圏域においても、近い将来、人口減少局面に入ることが見込まれており、地域活力の低下が懸念される状況となっています。

今後は、圏域市町村が一丸となって、それぞれの持つ魅力を掛け合わせた取組を行うことで、圏域全体にヒト、モノ、カネ、コトを呼び込み、圏域外への人口の流出を食い止めるなど、圏域経済を維持・発展させ、さらには道内経済をけん引する圏域を目指すべきものと考えます。

また、経済、社会、文化、住民生活等において密接な関係を有する圏域市町村と連携を深め、それぞれの持つ都市機能や強みを活かした役割分担をすることで、圏域全体において、よりきめ細やかな住民サービスを提供するとともに、行政のコスト削減や運営の効率化などを実現することが可能になるものと考えます。

札幌市は、こうした考えの下、圏域市町村それぞれの特徴を活かした、密接な連携と効果的な役割分担を図りながら、「住みたくなる」、「投資したくなる」、選ばれる「さっぽろ圏域」となるため、圏域全体の将来像を描き、圏域全体の経済をけん引し圏域の住民全体の暮らしを支えるという役割を積極的に担っていく「連携中枢都市」となることを決意し、ここに宣言いたします。

平成30年（2018年）11月28日

札幌市長 秋元克広

1 連携が想定される市町村

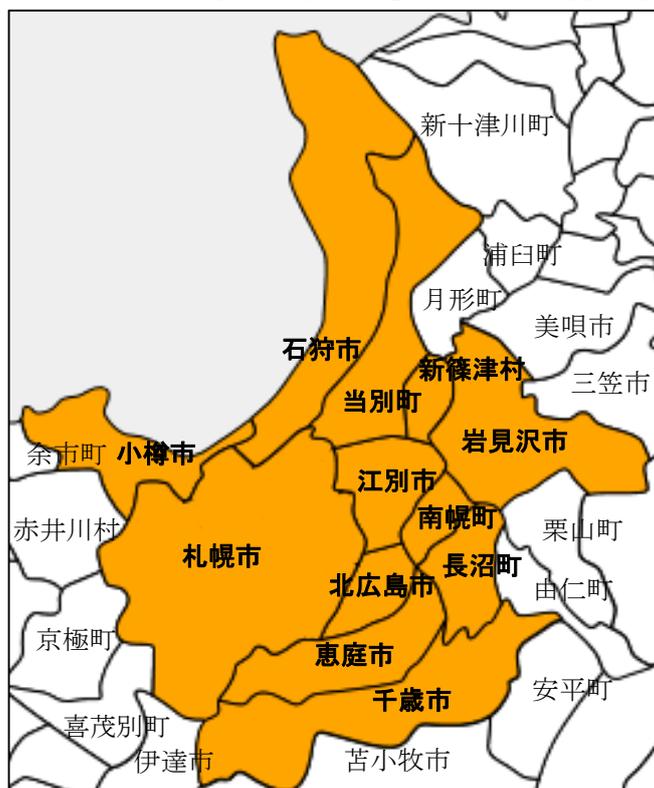
(単位：人)

市町村名	A 当地に常住する就業者・通学者総数(注1)	B うち自宅で従業	C 札幌市で従業・通学	D 札幌市への通勤・通学割合 C / (A - B)
	札幌市	—		—
小樽市	55,687	3,939	7,623	14.7%
岩見沢市	40,892	4,596	3,690	10.2%
江別市	60,800	3,600	22,350	39.1%
千歳市	48,748	2,209	2,958	6.4%
恵庭市	35,166	1,965	4,897	14.7%
北広島市	29,084	1,550	11,360	41.3%
石狩市	27,663	2,497	12,015	47.7%
当別町	9,502	1,483	3,057	38.1%
新篠津村	1,811	700	83	7.5%
南幌町	4,383	698	823	22.3%
長沼町	6,257	1,882	483	11.0%

出典：「平成27年国勢調査」(総務省)

(注1) 15歳以上就業者の「従業地不詳」を除く。

【圏域図と主な周辺の市町村】(太字は連携が想定される市町村)



2 圏域の現在人口と将来人口の推計

(単位：人)

市町村名	現在の人口	将来推計人口		
	平成 27 年 (2015 年)	平成 32 年 (2020 年)	平成 42 年 (2030 年)	平成 52 年 (2040 年)
札幌市	1,952,356	1,974,801	1,959,483	1,870,991
小樽市	121,924	111,129	89,561	69,422
岩見沢市	84,499	78,591	66,101	53,640
江別市	120,636	116,429	106,082	92,706
千歳市	95,648	96,739	95,985	92,345
恵庭市	69,702	69,449	67,129	63,003
北広島市	59,064	57,339	52,264	46,222
石狩市	57,436	55,066	48,785	41,384
当別町	17,278	15,718	12,736	10,007
新篠津村	3,329	3,052	2,563	2,076
南幌町	7,927	7,176	5,854	4,559
長沼町	11,076	10,401	8,946	7,419
圏域計	2,600,875	2,595,890	2,515,489	2,353,774

出典：「平成 27 年国勢調査」（総務省）、「日本の地域別将来推計人口（平成 30 年 3 月公表）」（国立社会保障・人口問題研究所）

3 都市機能の集積状況及びその利用状況等

(1) 行政機関

市町村名	府省等名	行政機関名
札幌市	内閣官房	アイヌ総合政策室北海道分室
	人事院	事務総局北海道事務局
	内閣府	公正取引委員会事務総局北海道事務所、警察庁北海道警察情報通信部
	総務省	北海道管区行政評価局、北海道総合通信局
	法務省	札幌法務局、南出張所、北出張所、西出張所、白石出張所、札幌矯正管区、北海道地方更生保護委員会、札幌保護観察所、札幌入国管理局、法務総合研究所札幌支所、矯正研修所札幌支所、札幌刑務所、札幌刑務支所、札幌拘置支所、札幌少年鑑別所、札幌高等検察庁、札幌地方検察庁、札幌区検察庁、北海道公安調査局
	財務省	北海道財務局、函館税関札幌税関支署、財務総合政策研究所北海道研修支所、札幌国税局、札幌北税務署、札幌中税務署、札幌西税務署、札幌東税務署、札幌南税務署、国税不服審判所札幌国税不服審判所、税務大学校札幌研修所、国税庁長官官房総務課監督評価官室札幌派遣監督評価官室、長官官房国税庁監察官札幌派遣国税庁監察官
	厚生労働省	北海道厚生局、北海道労働局、労働基準部労災補償課分室、職業安定部職業対策課分室、札幌中央労働基準監督署、札幌東労働基準監督署、札幌公共職業安定所、マザーズハローワーク札幌、札幌わかものハローワーク、ハローワークプラザ札幌、札幌新卒応援ハローワーク、札幌東公共職業安定所、札幌北公共職業安定所、ハローワークプラザ北 24
	農林水産省	北海道農政事務所、横浜植物防疫所札幌支所、北海道森林管理局、石狩地域森林ふれあい推進センター、石狩森林管理署、北海道漁業調整事務所
	経済産業省	北海道経済産業局、北海道産業保安監督部
	国土交通省	北海道開発局、札幌開発建設部、札幌河川事務所、豊平川ダム統合管理事務所、札幌道路事務所、国営滝野すずらん丘陵公園事務所、北海道運輸局、札幌運輸支局、東京航空局丘珠空港事務所、札幌航空交通管制部、北海道地方測量部、札幌管区气象台
	環境省	北海道地方環境事務所
防衛省	北海道防衛局、北部方面隊北部方面総監部、第 11 旅団、札幌駐屯地、真駒内駐屯地、丘珠駐屯地、苗穂分屯地、自衛隊札幌病院、自衛隊札幌地方協力本部、北部地区隊、大通募集案内所、南部地区隊、月寒募集案内所、白石募集案内所、札幌地域援護センター、札幌常駐組、真駒内常駐組、丘珠常駐組	
小樽市	法務省	札幌法務局小樽支局、札幌刑務所小樽拘置支所、札幌地方検察庁小樽支部、小樽区検察庁、岩内支部、岩内区検察庁
	財務省	北海道財務局小樽出張所、函館税関小樽税関支署、札幌国税局小樽税務署
	厚生労働省	北海道労働局小樽労働基準監督署、小樽公共職業安定所、小樽検疫所、横浜植物防疫所札幌支所小樽出張所、動物検疫所北海道出張所小樽分室
	国土交通省	北海道開発局小樽開発建設部、小樽道路事務所、小樽港湾事務所、第一管区海上保安本部、小樽海上保安部
	防衛省	自衛隊札幌地方協力本部小樽地域事務所

市町村名	府省等名	行政機関名
岩見沢市	法務省	札幌法務局岩見沢支局、札幌地方検察庁岩見沢支部、岩見沢区検察庁、夕張区検察庁
	財務省	札幌国税局岩見沢税務署
	厚生労働省	北海道労働局岩見沢労働基準監督署、岩見沢公共職業安定所
	農林水産省	北海道森林管理局空知森林管理署
	国土交通省	北海道開発局札幌開発建設部岩見沢河川事務所、岩見沢道路事務所、岩見沢農業事務所
	防衛省	岩見沢駐屯地、自衛隊札幌地方協力本部岩見沢地域事務所、札幌地域援護センター岩見沢分室
江別市	法務省	札幌法務局江別出張所
	厚生労働省	北海道労働局札幌東公共職業安定所江別出張所
	国土交通省	北海道開発局札幌開発建設部江別河川事務所、札幌北農業事務所
	防衛省	自衛隊札幌地方協力本部江別地域事務所
千歳市	法務省	札幌入国管理局千歳苫小牧港出張所、北海少年院、紫明女子学院
	財務省	函館税関千歳税関支署
	厚生労働省	北海道労働局千歳公共職業安定所、小樽検疫所千歳空港検疫所支所
	農林水産省	横浜植物防疫所札幌支所新千歳空港出張所、動物検疫所北海道出張所
	国土交通省	北海道開発局札幌開発建設部千歳川河川事務所、千歳道路事務所、千歳空港建設事業所、東京航空局新千歳空港事務所、札幌管区気象台新千歳航空測候所、第一管区海上保安本部千歳航空基地
	環境省	北海道地方環境事務所支笏湖自然保護官事務所
	防衛省	北海道防衛局千歳防衛事務所、先進技術推進センター札幌試験場、北部方面隊第7師団、第1特科団、第1高射特科団、北部方面混成団、東千歳駐屯地、北千歳駐屯地、航空総隊北部航空方面隊第2航空団、第3高射群、航空救難団千歳救難隊、航空支援集団航空保安管制群千歳管制隊、航空気象群千歳気象隊、特別航空輸送隊、千歳基地、自衛隊札幌地方協力本部千歳地域事務所、千歳・恵庭地域援護センター、東千歳常駐組、北千歳常駐組
恵庭市	法務省	札幌法務局恵庭出張所
	防衛省	北海道補給処、北恵庭駐屯地、南恵庭駐屯地、島松駐屯地、自衛隊札幌地方協力本部恵庭地域事務所、千歳・恵庭地域援護センター南恵庭常駐組、北恵庭常駐組、島松常駐組
北広島市	国土交通省	北海道開発局札幌開発建設部札幌南農業事務所
石狩市	財務省	函館税関小樽税関支署石狩出張所
当別町	国土交通省	北海道開発局札幌開発建設部札幌道路事務所当別分庁舎
	防衛省	当別分屯基地
長沼町	防衛省	長沼分屯基地

出典：「行政機関所在地一覧（市町村別）（平成28年7月1日現在）」（総務省）

(2) 医療

① 医療施設及び医師の数

二次医療圏	市町村名	医療施設数（施設）		医師数 （人）
		病院（注1）	一般診療所（注2）	
札幌	札幌市	203 (25)	1,329	6,614
	江別市	6 (1)	66	185
	千歳市	8 (2)	54	123
	恵庭市	7 (2)	37	117
	北広島市	5 (0)	35	61
	石狩市	6 (1)	28	62
	当別町	1 (0)	13	23
	新篠津村	0 (0)	3	2
後志	小樽市	16 (4)	84	322
南空知	岩見沢市	8 (3)	59	182
	南幌町	1 (0)	2	4
	長沼町	1 (0)	7	14
圏域計		262 (38)	1,717	7,709

出典：「平成28年医療施設（動態）調査」（厚生労働省）、「平成28年医師・歯科医師・薬剤師調査」（厚生労働省）

（注1）（ ）内は精神病院の数を示す。

（注2）一般診療所とは、医師又は歯科医師が医業又は歯科医業を行う場所（歯科医業のみを行う場所を除く。）であって、患者の入院施設を有しないもの又は患者19人以下の入院施設を有するものをいう。

② 二次救急医療機関（※は診療所）

市町村名	施設名
札幌市	国家公務員共済組合連合会斗南病院、医療法人札幌円山整形外科病院、市立札幌病院、札幌循環器病院、時計台記念病院、J R札幌病院、J A北海道厚生連札幌厚生病院、社会医療法人医仁会中村記念病院、N T T東日本札幌病院、札幌医科大学附属病院、医療法人社団いとう整形外科病院、医療法人菊郷会愛育病院、医療法人社団中野整形外科医院（※）、札幌中央病院、医療法人社団土田病院、医療法人社団札幌外科記念病院、社会医療法人北海道循環器病院、札幌マタニティ・ウイメンズホスピタル、北海道大学病院、松田整形外科記念病院、社会医療法人北腎会坂泌尿器科病院、医療法人社団北匠会札幌北脳神経外科（※）、医療法人麻生整形外科病院、医療法人社団北札幌病院、医療法人新川新道整形外科病院、社会医療法人延山会北成病院、天使病院、医療法人育愛会札幌東豊病院、コスモ脳神経外科（※）、医療法人札幌麻生脳神経外科病院、医療法人社団石垣整形外科医院（※）、社会医療法人社団愛心館愛心メモリアル病院、北光記念病院、医療法人徳洲会札幌東

	徳洲会病院、勤医協中央病院、北海道泌尿器科記念病院、社会医療法人禎心会札幌禎心会病院、札幌心臓血管クリニック、社会医療法人朋仁会整形外科北新東病院、医療法人彰和会北海道消化器科病院、社会医療法人社団三草会クラーク病院、医療法人社団三樹会病院、社会医療法人北楡会札幌北楡病院、札幌白石記念病院、社会医療法人恵佑会札幌病院、独立行政法人国立病院機構北海道がんセンター、社会医療法人朋仁会整形外科北新病院、医療法人菊郷会札幌センチュリー病院、勇気会医療法人北央病院、医療法人新さつぼろ脳神経外科病院、医療法人徳洲会札幌徳洲会病院、新札幌循環器病院、独立行政法人地域医療機能推進機構札幌北辰病院、医療法人豊和会新札幌豊和会病院、社会医療法人仁陽会西岡第一病院、医療法人柏葉脳神経外科病院、独立行政法人地域医療機能推進機構北海道病院、KKR札幌医療センター、平岸外科整形外科医院（※）、医療法人北海道整形外科記念病院、西岡病院、社会医療法人蘭友会札幌里塚病院、社会医療法人札幌清田病院、社会医療法人札幌清田整形外科病院、医療法人社団エス・エス・ジェイ札幌整形循環器病院、仁楡会病院、医療法人大地小笠原記念札幌病院、医療法人三和会札幌南整形外科病院、医療法人為久会札幌共立五輪橋病院、医療法人五輪橋整形外科病院、社会医療法人医仁会中村記念南病院、医療法人社団芸術の森泌尿器科（※）、自衛隊札幌病院、医療法人西さつぼろ病院、独立行政法人国立病院機構北海道医療センター、社会医療法人孝仁会北海道大野記念病院、医療法人社団信和会石川泌尿器科・腎臓内科（※）、医療法人社団康仁会中田泌尿器科病院、医療法人社団明日佳札幌宮の沢脳神経外科病院、社会医療法人孝仁会札幌第一病院、医療法人社団静和会静和記念病院、医療法人社団明生会イムス札幌消化器中央総合病院、医療法人社団研仁会北海道脳神経外科記念病院、手稲いなほ外科・整形外科（※）、医療法人秀友会札幌秀友会病院、手稲溪仁会病院、医療法人社団伸孝会ていね泌尿器科（※）
小樽市	社会福祉法人北海道社会事業協会小樽病院、小樽市立病院、医療法人社団北匠会小樽中央病院、小樽掖済会病院、医療法人社団島田脳神経外科（※）、社会福祉法人恩賜財団北海道支部北海道済生会小樽病院、医療法人ひまわり会札幌病院
岩見沢市	独立行政法人労働者健康安全機構北海道中央労災病院、医療法人萌佑会岩見沢脳神経外科（※）、岩見沢市立総合病院、医療法人北翔会岩見沢北翔会病院、岩見沢市立栗沢病院
江別市	医療法人社団江別やまもと整形外科（※）、江別市立病院、医療法人社団藤花会江別谷藤病院、医療法人英生会野幌病院、医療法人溪和会江別病院、医療法人社団親寿会池永クリニック（※）
千歳市	医療法人社団豊友会千歳豊友会病院、医療法人同仁会千歳第一病院、医療法人社団いずみ会北星病院、市立千歳市民病院
恵庭市	医療法人北晨会恵み野病院、恵庭第一病院、医療法人社団我汝会えにわ病院
北広島市	社会医療法人即仁会北広島病院
石狩市	医療法人社団佐々木整形外科医院（※）、石狩病院、石狩幸惺会病院
南幌町	国民健康保険町立南幌病院
長沼町	町立長沼病院

出典：「北海道医療計画（平成30年度～平成35年度）」（北海道）

③ 三次救急医療機関

市町村名	施設名
札幌市	市立札幌病院、札幌医科大学付属病院、手稲溪仁会病院、独立行政法人国立病院機構北海道医療センター、北海道大学病院

出典：「北海道医療計画（平成30年度～平成35年度）」（北海道）、「さっぽろ医療計画2018（2018年度～2023年度）」（札幌市）

④ 休日夜間急患センター

市町村名	施設名
札幌市	札幌市医師会夜間急病センター
小樽市	小樽市夜間急病センター
岩見沢市	岩見沢市夜間急病センター
江別市	江別市夜間急病センター
千歳市	千歳市休日夜間急病センター
恵庭市	恵庭市夜間・休日急病診療所
北広島市	北広島市夜間急病センター

出典：「北海道医療計画（平成30年度～平成35年度）」（北海道）

⑤ 災害拠点病院

区分	市町村名	施設名
基幹災害拠点病院	札幌市	札幌医科大学附属病院
地域災害拠点病院	札幌市	市立札幌病院、北海道大学病院、独立行政法人国立病院機構北海道医療センター、手稲溪仁会病院
	小樽市	小樽市立病院
	岩見沢市	岩見沢市立総合病院

出典：「北海道医療計画（平成30年度～平成35年度）」（北海道）

⑥ 周産期母子医療センター

区分	市町村名	施設名
総合周産期母子医療センター	札幌市	市立札幌病院
特定機能周産期母子医療センター	札幌市	北海道立子ども総合医療・療育センター
地域周産期母子医療センター	札幌市	天使病院、独立行政法人地域医療機能推進機構北海道病院、N T T 東日本札幌病院、手稲溪仁会病院、北海道大学病院、札幌医科大学附属病院
	小樽市	北海道社会事業協会小樽病院
	岩見沢市	岩見沢市立総合病院

出典：「北海道医療計画（平成30年度～平成35年度）」（北海道）

(3) 教育・文化・スポーツ

① 高等教育機関

高等教育機関名	学部・学科等	入学定員	所在地
北海道大学	文学部	185人	札幌市
	教育学部	50(10)人	
	法学部	200(20)人	
	経済学部	190人	
	理学部	300人	
	医学部	287(5)人	
	歯学部	53人	
	薬学部	80人	
	工学部	670(10)人	
	農学部	215人	
	獣医学部	40人	
北海道大学大学院	文学研究科	125人	札幌市
	法学研究科	85人	
	情報科学研究科	219人	
	環境科学院	222人	
	理学院	185人	
	農学院	184人	
	生命科学院	182人	
	教育学院	66人	
	国際広報メディア・観光学院	59人	
	保健科学院	50人	
	工学院	395人	
	総合化学院	167人	
	経済学院	63人	
	医学院	110人	
	医理工学院	17人	
	国際食資源学院	15人	
	公共政策教育部	30人	
歯学院	40人		
獣医学院	16人		
国際感染症学院	12人		
札幌医科大学	医学部	110人	札幌市
	保健医療学部	90人	
	助産学専攻科	(20)人	
札幌医科大学大学院	医学研究科	60人	札幌市
	保健医療学研究科	32人	
札幌市立大学	デザイン学部	85(10)人	札幌市
	看護学部	80(10)人	
	助産学専攻科	(10)人	
札幌市立大学大学院	デザイン研究科	21人	札幌市
	看護学研究科	21人	
札幌大学	地域共創学群	900人	札幌市
	女子短期大学部	80人	
札幌大学大学院	文化学研究科	10人	札幌市
北星学園大学	文学部	203人	札幌市
	経済学部	364人	
	社会福祉学部	234人	
	短期大学部	200人	

高等教育機関名	学部・学科等	入学定員	所在地
北星学園大学大学院	文学研究科	8人	札幌市
	経済研究科	10人	
	社会福祉学研究科	15人	
北海学園大学	経済学部	420人	札幌市
	経営学部	400人	
	法学部	435人	
	人文学部	265人	
	工学部	260人	
北海学園大学大学院	経済学研究科	18人	札幌市
	経営学研究科	10人	
	法学研究科	16人	
	文学研究科	14人	
	工学研究科	16人	
北海道科学大学	工学部	392人	札幌市
	保健医療学部	290人	
	未来デザイン学部	130人	
	短期大学部	150(25)人	
北海道科学大学大学院	工学研究科	27人	札幌市
	薬学研究科	3人	
	保健医療学研究科	13人	
北海道薬科大学(注1)	薬学部	210人	札幌市
北海商科大学	商学部	180人	札幌市
北海商科大学大学院	商学研究科	7人	札幌市
札幌国際大学	人文学部	180人	札幌市
	スポーツ人間学部	120人	
	観光学部	140人	
	短期大学部	190人	
札幌国際大学大学院	観光学研究科	10人	札幌市
	心理学研究科	10人	
	スポーツ健康指導研究科	5人	
天使大学	看護栄養学部	172人	札幌市
天使大学大学院	看護栄養学研究科	19人	札幌市
	助産研究科	40人	
札幌大谷大学	芸術学部	150人	札幌市
	社会学部	70人	
	短期大学部	100(10)人	
札幌保健医療大学	看護医療学部	180人	札幌市
光塩学園女子短期大学	食物栄養科	150人	札幌市
	保育科	150人	
北海道武蔵女子短期大学	教養学科	200人	札幌市
	英文学科	120人	
	経済学科	80人	
小樽商科大学	商学部	515人	小樽市
小樽商科大学大学院	商学研究科	48人	小樽市
札幌学院大学	人文学部	320人	江別市
	法学部	150人	
	経済学部	150人	
	経営学部	170人	
札幌学院大学大学院	法学研究科	15人	江別市
	臨床心理学研究科	10人	
	地域社会マネジメント研究科	20人	

高等教育機関名	学部・学科等	入学定員	所在地
酪農学園大学	農食環境学群	530人	江別市
	獣医学群	170人	
酪農学園大学大学院	酪農学研究科	22人	江別市
	獣医学研究科	6人	
北海道情報大学	経営情報学部	120人	江別市
	医療情報学部	80人	
	情報メディア学部	220人	
	経営情報学部（通信制）	1,200人	
北海道情報大学大学院	経営情報学研究科	15人	江別市
北翔大学	生涯スポーツ学部	220人	江別市
	教育文化学部	220人	
	短期大学部	190人	
北翔大学大学院	人間福祉学研究科	8人	江別市
	生涯学習学研究科	6人	
	生涯スポーツ学研究科	6人	
千歳科学技術大学	理工学部	240人	千歳市
千歳科学技術大学大学院	光科学研究科	23人	千歳市
北海道千歳リハビリテーション大学	健康科学学部	110人	千歳市
北海道文教大学	外国語学部	100人	恵庭市
	人間科学部	450人	
北海道文教大学大学院	グローバルコミュニケーション研究科	5人	恵庭市
	健康栄養科学研究科	4人	
	リハビリテーション科学研究科	4人	
	こども発達学研究科	4人	
星槎道都大学	社会福祉学部	60人	北広島市
	美術学部	80人	
	経営学部	120人	
北海道教育大学札幌校	教育学部	270人	札幌市
北海道教育大学岩見沢校	教育学部	180人	岩見沢市
北海道教育大学大学院	教育学研究科	180人 (札幌校・岩見沢校・旭川校・釧路校・函館校の合計)	札幌市 岩見沢市
藤女子大学	文学部	240人	札幌市
	人間生活学部	240人	石狩市
藤女子大学大学院	人間生活学研究科	16人	石狩市
北海道医療大学 (当別キャンパス)	薬学部	160人	当別町
	歯学部	80人	
	看護福祉学部	180人	
	リハビリテーション学部	180人	
北海道医療大学大学院 (当別キャンパス)	薬学研究科	6人	当別町
	歯学研究科	18人	
	看護福祉学研究科	24人	
	リハビリテーション科学研究科	7人	
北海道医療大学 (札幌あいの里キャンパス)	心理学部	75人	札幌市
北海道医療大学大学院 (札幌あいの里キャンパス)	心理科学研究科	29人	札幌市

高等教育機関名	学部・学科等	入学定員	所在地
日本医療大学	保健医療学部	210人 真栄キャンパス・ 恵み野キャンパス の合計	札幌市 恵庭市

出典：「平成 29 年度北海道学校一覧」（北海道教育委員会）、各大学ホームページ等

※入学定員のうち、（ ）は転入等の外数

（注 1）2018 年 4 月 1 日に北海道科学大学と統合

② 主な文化施設

市町村名	施設名
札幌市	札幌文化芸術劇場（hitaru）、札幌文化芸術交流センター（SCARTS）、札幌芸術の森、関口雄揮記念美術館、北海道立三岸好太郎美術館、本郷新記念札幌彫刻美術館、北海道立近代美術館、札幌市教育文化会館、札幌市民ギャラリー、札幌コンサートホール Kitara、あしりべつ郷土館、エドウィン・ダン記念館、札幌市資料館、旧黒岩家住宅（旧簾舞通行屋）、札幌市時計台、札幌市旧永山武四郎邸及び札幌市旧三菱鉱業寮、札幌市豊平館、札幌市交通資料館、札幌市水道記念館、札幌市博物館活動センター、札幌市埋蔵文化財センター、サッポロビール博物館、札幌村郷土記念館、定山溪郷土博物館、つきさっぷ郷土資料館、手稲記念館、屯田郷土資料館、平岸郷土資料館、福住開拓記念館、北海道博物館、北海道大学総合博物館、北海道立文学館、雪印メグミルク酪農と乳の歴史館、さっぽろ天神山アートスタジオ
小樽市	北一ヴェネツィア美術館、市立小樽文学館、市立小樽美術館、一原有徳記念ホール、中村善策記念ホール、小樽芸術村、市立小樽美術館、小樽市手宮洞窟保存館、小樽市総合博物館、小樽市総合博物館（運河館）、小樽スキー資料館・天狗の館、日本銀行旧小樽支店金融資料館、北のウォール街資料館、潮見台小学校郷土資料館、小樽港湾事務所みなとの資料コーナー、小樽倉庫資料館
岩見沢市	絵画ホール・松島正幸記念館、郷土科学館
江別市	江別市セラミックアートセンター、旧町村農場、ガラス工芸館、江別市郷土資料館、道有形文化財・屯田資料館、北海道林木育種場旧庁舎
千歳市	千歳市埋蔵文化財センター、千歳さけますの森さけます情報館
恵庭市	郷土資料館、史跡カリンバ遺跡
北広島市	北広島市エコミュージアムセンター知新の駅
石狩市	はまます郷土資料館、いしかり砂丘の風資料館
当別町	伊達記念館・伊達邸別館
新篠津村	新篠津村郷土資料室
南幌町	郷土資料室
長沼町	—

出典：各市町村ホームページ等

③ 公立図書館（室）等

市町村名	図書館数	蔵書総数	来館者数	個人貸出資料総数
札幌市	11	2,663,959	1,944,039	6,403,091
小樽市	1	311,359	192,950	325,689
岩見沢市	3	339,718	204,704	401,014
江別市	3	446,451	-	774,114
千歳市	1	280,005	-	675,296
恵庭市	3	297,063	284,111	613,225
北広島市	5	334,584	236,608	494,922
石狩市	4	307,656	241,902	553,378
当別町	2	35,829	-	45,654
新篠津村	1	15,584	-	3,836
南幌町	1	41,918	12,816	32,830
長沼町	1	113,205	26,884	66,123

出典：「北海道の図書館 統計-平成 29 年 4 月 1 日現在-」（北海道図書館振興協議会）

④ 主な研究機関

機関名	所在地
地方独立行政法人北海道立総合研究機構	札幌市
農業研究本部（農業技術情報広場）	長沼町
中央農業試験場	長沼町
水産研究本部 さけます・内水面水産試験場	恵庭市
産業技術研究本部	札幌市
工業試験場	札幌市
食品加工研究センター	江別市
環境・地質研究本部	札幌市
環境科学研究センター	札幌市
地質研究所	札幌市
国立研究開発法人寒地土木研究所	札幌市
国立研究開発法人産業技術総合研究所 北海道センター	札幌市
国立研究開発法人水産研究・教育機構 北海道区水産研究所	札幌市
国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構北海道農業研究センター本所	札幌市
北海道立衛生研究所	札幌市
札幌市衛生研究所	札幌市

出典：各機関ホームページ

⑤ 主なスポーツ施設

市町村名	施設名
札幌市	中央体育館、中島体育センター、北区体育館、東区体育館、美香保体育館（冬季はスケート場）、白石区体育館、厚別区体育館、豊平区体育館、清田区体育館、南区体育館、西区体育館、宮の沢屋内競技場、手稲区体育館、東温水プール、白石温水プール、厚別温水プール、豊平公園温水プール、平岸プール、清田温水プール、西温水プール、手稲曙温水プール、中央区公的温水プール（サンシャインスポーツクラブ）、北区公的温水プール（札幌サンプラザ）、南区公的温水プール（北海道青少年会館コンパス）、札幌ドーム、麻生球場（麻生庭球場を含む。）、美香保公園野球場、東雁来公園サッカー場、白旗山競技場、平岸庭球場、中島公園庭球場、大倉山ジャンプ競技場、宮の森ジャンプ競技場、荒井山ジャンツェ、手稲山ジャンツェ、月寒体育館、星置スケート場、どうぎんカーリングスタジアム（札幌市カーリング場）、円山総合運動場（円山球場、円山庭球場、円山競技場、円山補助競技場、円山スケート場）、月寒屋外競技場（ラグビー場、弓道場、庭球場）、厚別公園競技場（厚別公園補助競技場を含む。）、つどーむ（スポーツ交流施設（庭球場を含む。）、藤野野外スポーツ交流施設（リュージュ競技場を含む。）
小樽市	小樽市望洋サッカー・ラグビー場、小樽市総合体育館、小樽市銭函パークゴルフ場
岩見沢市	総合体育館、スポーツセンター、北村トレーニングセンター、北村多目的体育館「土里夢」、岩見沢市トレーニングセンター、栗沢B&G海洋センター、岩見沢市野球場、みずほ公園野球場、あさぎり公園野球場、北村野球場、栗沢球場、みずほ公園サッカー場、岡山スポーツフィールドサッカー場、岩見沢市温水プール、北村プール、栗沢B&G海洋センタープール、いわみざわ公園パークゴルフ場「ローズパーク」、東山公園テニスコート、陸上競技場
江別市	市民体育館、東野幌体育館、大麻体育館、青年センター
千歳市	スポーツセンター（ダイナックスアリーナ）、温水プール、総合武道館、屋外体育施設、市民スキー場
恵庭市	総合体育館、島松体育館、駒場体育館、福住屋内運動広場、市民スキー場、市民スケート場、恵庭中央パークゴルフ場、屋外体育施設
北広島市	ゴロッケー場、スキー場、西部プール、東部住民プール、大曲住民プール、西の里住民プール、緑葉公園プール、白樺プール、総合体育館、輪厚児童体育館、大曲ファミリー体育館、西の里ファミリー体育館、緑葉公園（野球場など）、ゴルフ場
石狩市	はまなす国体記念石狩市スポーツ広場、石狩市多目的スポーツ施設（サン・ビレッジいしかり）、石狩市B&G海洋センター、浜益スポーツセンター、石狩市民プール、緑苑台パークゴルフ場、シーサイドみなくるパークゴルフ場、石狩河口パークゴルフ場、浜益温泉公園パークゴルフ場
当別町	当別町総合体育館、石狩平原スキー場、若葉球場、阿蘇公園少年野球場、相撲場、栄公園テニスコート、白樺公園テニスコート、フラワーパークゴルフ場、あいあい公園パークゴルフ場、あいあい公園少年野球場、遊遊公園テニスコート
新篠津村	しのつ公園パークゴルフ場、ふれあい公園パークゴルフ場、新篠津村B&G体育館、新篠津村運動公園
南幌町	スポーツセンター、町民プール、リバーサイドゴルフ場、中央公園パークゴルフ場
長沼町	長沼町スポーツセンター、舞鶴スポーツ公園、長沼町運動広場、長沼町武道館、屋内ゲートボール場、マオイゴルフリゾート、北長沼スキー場、北長沼水郷公園パークゴルフ場、ながぬまコミュニティ公園パークゴルフ場、マオイの丘公園パークゴルフ場、中央長沼水泳プール、北長沼水泳プール、南長沼水泳プール、舞鶴水泳プール

出典：各市町村ホームページ等

(4) 主な商業施設

種別	施設名	所在地
百貨店	丸井今井札幌本店、札幌三越、大丸札幌店、東急百貨店札幌店、丸ヨ池内	札幌市
主要ショッピングセンター（注1）	さっぽろ地下街オーロラタウン・ポールタウン、札幌パルク、サッポロファクトリー、ピヴオ、イオン札幌桑園ショッピングセンター、札幌ステラプレイス・大丸札幌店、nORBESA（ノルベサ）、maruyama class、ススキノラフィラ・イトーヨーカドーすすきの店、イオン札幌麻生店、パセオ、あいの里ショッピングセンターi-MALL、イトーヨーカドー屯田店、イオン札幌栄町店、イオン札幌元町ショッピングセンター、イオンモール札幌苗穂、Ario札幌（アリオ札幌）、鉄東ショッピングセンター、イオン東札幌店、iias札幌（イーアス札幌）（注2）、イトーヨーカドー福住店、イオン札幌西岡店、イオン札幌琴似店、西友西町店、イトーヨーカドー琴似店、イオンモール札幌発寒、新さっぽろアークシティサンピアザ、新さっぽろアークシティデュオ、西友厚別店、CAPO大谷地（キャポ大谷地）、メルシャン・プラス（西友手稲店）、イオンスーパーセンター手稲山口店、イオンモール札幌平岡	札幌市
	長崎屋小樽店・ドン・キホーテ小樽店、ウイングベイ小樽	小樽市
	であえーる岩見沢（ポルタビル）、イオン岩見沢店	岩見沢市
	イオン江別店	江別市
	イオン千歳店、千歳アウトレットモール・レラ、ちとせモール	千歳市
	フレスポ恵み野	恵庭市
	コープさっぽろエルフィン店、インターヴィレッジ大曲、三井アウトレットパーク札幌北広島	北広島市
	イオン石狩緑苑台ショッピングセンター（イオンスーパーセンター石狩緑苑台店）	石狩市
道の駅	サーモンパーク千歳	千歳市
	花ロードえにわ	恵庭市
	石狩「あいろーど厚田」	石狩市
	北欧の風 道の駅とうべつ	当別町
	しんしのつ	新篠津村
	マオイの丘公園	長沼町

出典：「会員百貨店リスト（2018年10月19日現在）」（日本百貨店協会）、「都道府県別・政令指定都市別・市町村別SC一覧（2017年12月末日時点）」（一般社団法人日本ショッピングセンター協会）、北海道の道の駅総合サイト「北の道の駅」

（注1）店舗面積が10,000㎡以上のものに限る。

（注2）2018年4月28日に「ラソラ札幌」に名称変更

(5) 主な観光地・施設

市町村名	施設名
札幌市	北海道庁旧本庁舎、さっぽろテレビ塔、札幌市時計台、北海道大学植物園、大通公園、中島公園、札幌市資料館、本郷新記念札幌彫刻美術館、北海道立近代美術館、北海道知事公館、北海道立三岸好太郎美術館、札幌大倉山展望台・札幌オリンピックミュージアム、北海道神宮、円山動物園、モエレ沼公園、サッポロさとらんど、百合が原公園、さっぽろ羊ヶ丘展望台、北海道博物館、北海道開拓の村、国営滝野すずらん丘陵公園、札幌芸術の森、雪印メグミルク酪農と乳の歴史館
小樽市	小樽運河、北ーヴェネツィア美術館、旧岡崎家能舞台（小樽市公会堂内）、小樽総鎮守 住吉神社、小樽市鯉御殿、旧日本郵船株式会社小樽支店、にしん御殿小樽貴賓館（旧青山別邸）、茨木家中出張番屋、手宮洞窟保存館、おたる水族館
岩見沢市	北海道グリーンランド、ログホテルメープルロッジ、大地のテラス、そらち炭鉱（ヤマ）の記憶マネジメントセンター、岩見沢郷土科学館、絵画ホール・松島正幸記念館、岩見沢レールセンター、万字炭山森林公園、栗沢工芸館、利根別自然公園・原生林、玉泉館跡地公園、あやめ公園、いわみざわ公園バラ園、旧万字線朝日駅
江別市	江別市ガラス工芸館、江別市郷土資料館、江別市セラミックアートセンター、江別市屯田資料館、旧町村農場、自然ふれあい交流館、道立埋蔵文化財センター、ノハナショウブ群生地、美原大橋、EBRI（エブリ）、アースドリーム角山農場、江別河川防災ステーション、北海道立自然公園野幌森林公園
千歳市	支笏洞爺国立公園支笏湖、山線鉄橋、苔の洞窟、美笛の滝、オコタンペ湖、野鳥の森、樽前山、風不死岳、恵庭岳、紋別岳、パレットの丘、名水ふれあい公園、青葉公園、サケのふるさと千歳水族館
恵庭市	漁川ダム、白扇の滝、ラルマナイの滝、三段の滝、えにわ湖自由広場、桜公園、ふれらんど、緑のふるさと森林公園、サッポロビール北海道工場、えこりん村
北広島市	クラーク博士記念碑、開拓記念公園、国指定史跡旧島松駅通所、寒地稲作発祥の碑、平和の灯公園、くるるの杜
石狩市	恋人の聖地/厚田展望台、浜益ふるさと公園、毘砂別展望台、白銀の滝、千本ナラ、弁天歴史公園、石狩弁天社、石狩尚古社、いしかり砂丘の風資料館、史跡荘内藩ハママシケ陣屋跡、イチイの木、黄金山、増毛山道、濃昼山道、はまなすの丘公園、石狩灯台、石狩浜海浜植物保護センター、海水浴場
当別町	本庄陸男生誕の地碑、「石狩川」文学碑、伊達記念館・伊達邸別館、スウェーデン交流センター、当別ダム、見晴らしの水松、開拓記念樹、レクサンド記念公園、道民の森
新篠津村	しのつ湖、しのつ公園
南幌町	南幌リバーサイド公園
長沼町	文学碑、東庭園、ハイジ牧場、ながぬま温泉、マオイオートランド

出典：各市町村ホームページ、各市町村観光協会ホームページ等

(6) 主な金融機関

区分（圏域内に本店があるもの）	機関名
地方銀行	北海道銀行
第二地方銀行	北洋銀行
信用金庫	北海道信用金庫、空知信用金庫
信用組合	ウリ信用組合、札幌中央信用組合、北央信用組合
労働金庫	北海道労働金庫
系統金融機関	北海道信用農業協同組合連合会、北海道信用漁業協同組合連合会
区分（圏域内に支店等があるもの）	機関名
中央銀行、政府関係金融機関	日本銀行、日本政策金融公庫、日本政策投資銀行、商工組合中央金庫
都市銀行、信託銀行等	みずほ銀行、三菱UFJ銀行、三井住友銀行、りそな銀行、三菱UFJ信託銀行、みずほ信託銀行、三井住友信託銀行、SMB C信託銀行、ゆうちょ銀行

出典：財務省、金融庁ホームページ等

(7) 主な工業団地

市町村名	団地数	工業団地名
札幌市	17 団地	札幌テクノパーク、新川地区工業団地ほか
小樽市	4 団地	石狩湾新港工業団地、銭函工業団地ほか
岩見沢市	7 団地	岡山工業団地、南空知流通工業団地ほか
江別市	3 団地	江別第1工業団地、江別第2工業団地ほか
千歳市	11 団地	千歳臨空工業団地、千歳美々ワールドほか
恵庭市	9 団地	恵庭テクノパーク、戸磯・恵南工業団地ほか
北広島市	6 団地	北広島輪厚工業団地、大曲第3工業団地ほか
石狩市	2 団地	石狩湾新港工業団地、石狩工業団地
当別町	-	-
新篠津村	-	-
南幌町	2 団地	南幌工業団地、晩翠工業団地
長沼町	1 団地	中央長沼工業団地
圏域計（注1）	61 団地	

出典：「工業団地台帳（平成30年5月15日現在）」（北海道）

（注1）石狩湾新港工業団地は小樽市及び石狩市に所在しているため、団地数の合計とは一致しない。

(8) 交通

① 主な交通インフラ

区分	名称
鉄軌道系公共交通機関	<ul style="list-style-type: none"> ・ J R 北海道 (函館本線、室蘭本線、千歳線、石勝線、札沼線 (学園都市線)) ・ 札幌市営地下鉄 (南北線、東西線、東豊線) ・ 札幌市電 (路面電車)
空港	<ul style="list-style-type: none"> ・ 新千歳空港 ・ 丘珠空港
港湾	<ul style="list-style-type: none"> ・ 小樽港 ・ 石狩湾新港
高速道路	<ul style="list-style-type: none"> ・ 札幌自動車道 ・ 道央自動車道 ・ 道東自動車道

出典：各社ホームページ等

② 主な公共交通機関の利用状況

区分	名称	所在地	1日当たり 平均利用者数
鉄軌道系公共交通機関	J R 札幌駅	札幌市	186,626 人
	地下鉄さっぽろ駅	札幌市	169,266 人
	地下鉄大通駅	札幌市	150,518 人
	地下鉄すすきの駅	札幌市	33,752 人
	J R 新札幌駅	札幌市	28,236 人
	J R 小樽駅	小樽市	17,576 人
	J R 岩見沢駅	岩見沢市	9,084 人
	J R 大麻駅	江別市	14,782 人
	J R 野幌駅	江別市	13,254 人
	J R 千歳駅	千歳市	17,062 人
	J R 新千歳空港駅	千歳市	28,170 人
	J R 恵庭駅	恵庭市	14,066 人
	J R 北広島駅	北広島市	15,274 人
空港	丘珠空港	札幌市	688 人
	新千歳空港 (注1)	千歳市	62,243 人
港湾 (注2)	小樽港	小樽市	669 人

出典：「平成 27 年国土数値情報 駅別乗降客数データ」(国土交通省)、「平成 29 年空港別順位表 (暦年)」(国土交通省)、「平成 28 年港湾統計」(国土交通省)

(注1) 国際線及び国内線の合算値

(注2) 外国航路及び内国航路における船舶乗降人員の合算値

【交通ネットワーク図】



4 産業・経済の状況

(1) 圏域内民営事業所売上（収入）金額

（単位：億円）

	第1次産業		第2次産業		第3次産業		総数	
	実数	構成比	実数	構成比	実数	構成比	実数	構成比
札幌市	122	20.3%	24,669	65.7%	213,046	88.4%	237,837	85.2%
小樽市	12	2.0%	2,380	6.3%	5,486	2.3%	7,878	2.8%
岩見沢市	80	13.3%	1,182	3.1%	3,535	1.5%	4,804	1.7%
江別市	31	5.2%	1,382	3.7%	3,194	1.3%	4,607	1.6%
千歳市	123	20.5%	2,917	7.8%	5,103	2.1%	8,144	2.9%
恵庭市	20	3.3%	1,775	4.7%	2,423	1.0%	4,220	1.5%
北広島市	45	7.5%	1,165	3.1%	3,699	1.5%	4,909	1.8%
石狩市	31	5.2%	1,518	4.0%	3,608	1.5%	5,159	1.8%
当別町	46	7.7%	360	1.0%	474	0.2%	882	0.3%
新篠津村	11	1.8%	26	0.1%	57	0.0%	120	0.0%
南幌町	25	4.2%	91	0.2%	167	0.1%	291	0.1%
長沼町	54	9.0%	80	0.2%	306	0.1%	461	0.2%
圏域計	600	100.0%	37,545	100.0%	241,098	100.0%	279,311	100.0%

出典：「平成28年経済センサス - 活動調査」（総務省）

※外国の会社及び法人でない団体を除いた試算値である。

※第2次産業と第3次産業は、秘匿の産業を除いて算出。

※端数処理の関係上、内訳と合計は一致しないものがある。

(2) 圏域内民営従業者数

（単位：人）

	第1次産業		第2次産業		第3次産業		総数	
	実数	構成比	実数	構成比	実数	構成比	実数	構成比
札幌市	894	20.3%	95,808	64.7%	742,209	80.4%	838,911	78.0%
小樽市	145	3.3%	10,920	7.4%	39,175	4.2%	50,240	4.7%
岩見沢市	801	18.2%	5,149	3.5%	22,671	2.5%	28,621	2.7%
江別市	449	10.2%	6,783	4.6%	26,194	2.8%	33,426	3.1%
千歳市	565	12.8%	9,148	6.2%	29,855	3.2%	39,568	3.7%
恵庭市	216	4.9%	6,078	4.1%	15,729	1.7%	22,023	2.0%
北広島市	119	2.7%	4,589	3.1%	19,613	2.1%	24,321	2.3%
石狩市	178	4.0%	6,604	4.5%	19,253	2.1%	26,035	2.4%
当別町	305	6.9%	1,542	1.0%	3,770	0.4%	5,617	0.5%
新篠津村	167	3.8%	168	0.1%	554	0.1%	889	0.1%
南幌町	238	5.4%	604	0.4%	1,481	0.2%	2,323	0.2%
長沼町	321	7.3%	620	0.4%	2,797	0.3%	3,738	0.3%
圏域計	4,398	100.0%	148,013	100.0%	923,301	100.0%	1,075,712	100.0%

出典：「平成28年経済センサス - 活動調査」（総務省）

※端数処理の関係上、内訳と合計は一致しないものがある。

(3) 圏域内民営事業所数

(単位：事業所)

	第1次産業		第2次産業		第3次産業		総数	
	実数	構成比	実数	構成比	実数	構成比	実数	構成比
札幌市	96	20.8%	8,757	71.1%	63,598	77.2%	72,451	76.1%
小樽市	10	2.2%	825	6.7%	4,842	5.9%	5,677	6.0%
岩見沢市	96	20.8%	422	3.4%	2,712	3.3%	3,230	3.4%
江別市	40	8.7%	547	4.4%	2,764	3.4%	3,351	3.5%
千歳市	39	8.4%	391	3.2%	2,727	3.3%	3,157	3.3%
恵庭市	21	4.5%	283	2.3%	1,548	1.9%	1,852	1.9%
北広島市	12	2.6%	335	2.7%	1,560	1.9%	1,907	2.0%
石狩市	17	3.7%	517	4.2%	1,577	1.9%	2,111	2.2%
当別町	49	10.6%	89	0.7%	459	0.6%	597	0.6%
新篠津村	24	5.2%	12	0.1%	60	0.1%	96	0.1%
南幌町	19	4.1%	55	0.4%	178	0.2%	252	0.3%
長沼町	39	8.4%	78	0.6%	363	0.4%	480	0.5%
圏域計	462	100.0%	12,311	100.0%	82,388	100.0%	95,161	100.0%

出典：「平成28年経済センサス-活動調査」（総務省）

※端数処理の関係上、内訳と合計は一致しないものがある。

(4) 観光入込客数

	道内容・道外客				外国人	
	入込総数 (千人)	内宿泊客		宿泊客延数 (千人泊)	宿泊客数 (人)	宿泊客延数 (人泊)
内宿泊客		内日帰客				
札幌市	15,270.9	7,787.8	7,483.1	13,082.7	2,571,989	3,092,824
小樽市	8,061.6	757.5	7,304.1	885.1	205,587	244,520
岩見沢市	1,145.4	59.9	1,085.5	69.9	420	587
江別市	915.3	3.1	912.2	4.7	25	44
千歳市	5,240.5	279.2	4,961.3	336.5	136,772	159,023
恵庭市	1,351.1	4.1	1,347.0	7.2	58	127
北広島市	1,050.6	116.8	933.8	123.0	40,592	42,467
石狩市	2,048.5	35.4	2,013.1	35.4	0	0
当別町	834.2	25.4	808.8	25.9	598	654
新篠津村	178.5	16.4	162.1	16.5	98	98
南幌町	241.6	19.5	222.1	19.5	56	58
長沼町	737.7	30.6	707.1	32.3	0	0
圏域計	37,075.9	9,135.7	27,940.2	14,638.7	2,956,195	3,540,402

出典：「北海道観光入込客数調査報告書（平成29年度）」（北海道）

(5) 主な農産物

市町村名	主な農産物
札幌市	たまねぎ、こまつな、ほうれん草
小樽市	トマト、馬鈴薯、かぼちゃ
岩見沢市	米、たまねぎ、白菜
江別市	乳用牛、米、小麦、ブロッコリー
千歳市	鶏卵、小麦、小豆、ブロッコリー
恵庭市	米、小麦、花き、乳用牛
北広島市	レタス、大根、乳用牛
石狩市	米、小麦、ブロッコリー
当別町	米、小麦、花き、南瓜
新篠津村	米、小麦、大豆、ブロッコリー
南幌町	米、キャベツ、ねぎ
長沼町	米、大豆、ブロッコリー、白菜、たまねぎ

出典：各市町村からの聞き取り

(6) 再生可能エネルギーの導入容量 (注1)

(単位：kw)

市町村名	太陽光発電	風力発電	水力発電	バイオマス (注2)	合計 (注3)
札幌市	50,898	0	400	21,850	73,148
小樽市	3,216	6,600	0	1,274	11,089
岩見沢市	14,135	0	0	672	14,807
江別市	14,989	20	0	20,630	35,638
千歳市	52,951	0	0	29	52,980
恵庭市	13,310	0	2,260	30	15,600
北広島市	15,333	0	0	100	15,433
石狩市	13,954	9,800	0	1,200	24,953
当別町	2,973	0	0	0	2,973
新篠津村	2,236	0	0	0	2,236
南幌町	3,103	0	0	0	3,103
長沼町	5,236	0	0	0	5,236
圏域計	192,333	16,419	2,660	45,784	257,196

出典：「固定価格買取制度情報公表用ウェブサイト（再生可能エネルギー発電設備の導入状況等（平成30年3月末時点）」（経済産業省資源エネルギー庁）

(注1) 「導入」とは、固定価格買取制度の下で買取が開始された状態をいう。なお、本表で掲げる数値は、新規認定分（固定価格買取制度開始後に新たに認定を受けた設備のもの）及び移行認定分（電気事業者による再生可能エネルギー電気の調達に関する特別措置法施行規則第2条に規定する同法の施行の日において既に発電を開始していた設備又は同法附則第6条第1項に規定する特例太陽光発電設備であって、固定価格買取制度開始後に同制度に移行した設備のもの）の合算値である。

(注2) バイオマス比率を考慮したもの。

(注3) 地熱発電設備は圏域計0であるため、合計には影響しない。なお、端数処理の関係上、内訳と合計は一致しないものがある。

5 近隣市町村と連携して取り組むことを想定する分野

- (1) 圏域全体の経済成長のけん引
 - a 経済戦略の策定・体制整備
 - b 戦略産業の育成
 - c 地域経済の裾野拡大
 - d 戦略的な観光施策

- (2) 高次の都市機能の集積・強化
 - a 高度な医療サービスの提供
 - b 高度な中心拠点の整備等
 - c 高等教育機関の集積を活かした人材の育成
 - d その他高次の都市機能の集積・強化に関する連携

- (3) 圏域全体の生活関連機能サービスの向上
 - A 生活機能の強化
 - a 地域医療
 - b 福祉
 - c 教育・文化・スポーツ
 - d 土地利用
 - e 地域振興
 - f 災害対策
 - g 環境
 - B 結びつきやネットワークの強化
 - a ICTインフラ整備
 - b 連携による地産地消
 - c 交流・移住促進
 - d その他結びつきやネットワーク強化に関する連携
 - C 圏域マネジメント能力の強化
 - a 人材の育成
 - b 職員等の交流
 - c その他圏域マネジメント能力の強化に関する連携